

平成 28 年 1 月 5 日

各位

公益社団法人日本産科婦人科学会  
理事長 藤 井 知 行  
医療改革委員会  
委員長 海 野 信 也

## 平成 27 年度「拡大医療改革委員会」兼 「産婦人科医療改革公開フォーラム」開催のお知らせ

謹啓、日本産科婦人科学会では、厚生労働科学研究「地域格差是正を通じた周産期医療体制の将来ビジョン実現に向けた先行研究『周産期医療における医療圏の検討』（研究代表者 田村正徳・研究分担者 海野信也）」との共催で、「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革公開フォーラム」を以下の要領で開催することを企画いたしました。

先生方におかれましては、ご多用の折とは存じますが、地域医療の危機的状況に鑑み、このような会を開催することの重要性はきわめて高いと思われまます。何卒ご高配のほどお願い申し上げます。

謹白

### 記 「拡大医療改革委員会」

日時： 平成 28 年 1 月 24 日（日曜）午後 1 時より 4 時 30 分まで

場所： ステーションコンファレンス東京 501A+B

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 5F TEL 03-6888-8080（代表）

テーマ：「地域産婦人科医療提供体制の再構築」

- **開催の目的：**日本産科婦人科学会では、2015 年に「産婦人科医療改革グランドデザイン 2015（GD2015）」を GD2010 の改定版として策定、公表しました。GD2015 では GD2010 策定からの 5 年間で明らかとなった諸課題に対処するため、「地域基幹分娩取扱病院重点化プロジェクト」を立ち上げ、地域の産婦人科医療提供体制の再構築のため、「各地域の実情のリアルタイムのモニターと情報共有、評価が可能な体制を整備し、各地の取り組みを支援する」こととしております。今回の拡大医療改革委員会では、2015 年度中に予定されている周産期医療体制整備指針の改定と 2016 年度以降の都道府県の周産期医療体制整備計画の策定、2018 年度の地域医療計画策定に向けて、現状の共有と今後各地域における取り組みの方向性について検討したいと考えております。
- **検討事項：**
  - 地域の産婦人科医療現場及び産婦人科医の状況
  - 「地域基幹分娩取扱病院重点化プロジェクト」先行 8 道県の現状分析
  - 今後の取り組み

出席予定者

- 医療改革委員会委員・地域基幹分娩取扱病院重点化プロジェクト本部構成員・未来委員会委員・同若手委員会委員
- 厚生労働省雇用均等・児童家庭局担当者、厚生労働省医政局救急・周産期医療等対策室担当者
- 都道府県の産科婦人科学会、日本産婦人科医会都道府県支部の産婦人科医療提供体制検討担当者・都道府県医師会の産婦人科医療担当者
- 医局長等の各大学産婦人科教室の人事担当者
- この問題に関心のある会員
- 都道府県の医療提供体制整備・医師確保対策担当者

- ・本拡大委員会は、一般会員に開放した形式で行います。
- ・報道関係者を含む一般の方の傍聴・参加を歓迎します。

- 本拡大委員会の記録は、動画形式で医療改革委員会が運営するホームページ「周産期医療の広場」<http://shusanki.org/event.html>に掲載する予定です。

\*当日ご出席をご希望の方は、平成28年1月22日（金）までに、下記までご連絡をお願いいたします。

公益社団法人日本産科婦人科学会 事務局宛

E-mail : [nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)

FAX : 03-5524-6911

以上